



 CROSS PLUS

第64期 報告書

2016年2月1日～2017年1月31日

A/C DESIGN BY
ALPHA CUBIC

証券コード 3320

本業回帰による増益 “成長”という新たなステージへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、クロスプラスグループをご支援いただきまして、誠にありがとうございます。ここに第64期（2016年2月1日～2017年1月31日）の報告書をお届けいたします。

当期のアパレル業界は、国内経済の先行き不安にともなう消費者の生活防衛意識の高まりから、衣料品消費が低調に推移するなど厳しい状況が続きました。このような環境の中、当社グループは、株式会社ヴェント・インターナショナルを前期に解散し、主力の製造卸売への本業回帰を進めてまいりました。事業の再構築を行うとともに、もっとも重要な課題として利益重視の仕組みを強化した結果、利益面で計画を上回ることが出来ました。また、配当につきましても、収益基盤及び財務体質の改善が進んだことを受け、1株当たり2円の復配とさせていただきます。中期経営計画の2年目にあたる第65期につきましては、引き続き「安定した収益基盤の確立」に取り組むとともに、“成長”という新たなステージへと進んでまいります。

これからも私たちクロスプラスグループは、アパレルメーカーとして、多くの方々に愛されるファッションを新しいライフスタイル提案とともにお届けしてまいります。そして、社名にありますように、社員一人ひとりがプラスアルファの価値を創り上げることで更なる企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

やまもと ひろのり
代表取締役社長 **山本 大寛**



Contents

株主の皆様へ	1
決算概況	2
トピックス	3
連結財務諸表	5
グループ会社別実績／連結業績の推移	6
株主優待制度のご紹介	7
会社概要・株式の状況	9
株主メモ／HPのご紹介	10

2017年1月期の業績について

2017年1月期の連結業績は、売上高651億30百万円（前年比89%）、営業利益8億68百万円（前年比+6億39百万円）、当期純利益8億20百万円（前年比+1億71百万円）となりました。前期に（株）ヴェント・インターナショナルを解散したことで利益改善が大きく進みました。既存事業についても減収ながら増益となりました。

売上高は新設したマーケット開発部による新規開拓を進めましたが、衣料品市場が前年を下回る状況が続いた影響から各販売

チャンネルで減少しました。利益面は粗利益率の改善と経費削減により増益となりました。粗利益率は商品毎の採算性を重視した仕入販売管理が定着し、ロスを無くしたことによる改善や、生産のASEANシフト、海外物流の見直しによる貿易コストの削減で原価低減を進めたことで上昇しました。経費は自社配送センターの出荷効率が向上し、外部出荷の内製化を進めたことによる物流費の削減や東京拠点のフロア縮小による賃借料の引き下げなどにより減少しました。

2018年1月期の施策について

2018年1月期は中期経営計画の基本方針である“新規販路の拡大”、“生産基盤の再構築”、“経営管理基盤の強化”に引き続き取り組み、「安定した収益基盤の確立」をさらに進めてまいります。新規販路の拡大では、前年に新規開拓した得意先に対して販売数量やアイテムを増やすなど、取引を強化してまいります。あわせて、専門店向け展示会の実施を増やすとともに、それぞれの得意先の要望にきめ細かく対応できるよう営業スタッフとデ

ザイナーを増員します。生産基盤の再構築では不良率の低い主力工場への集約を進め、検品や貿易コストの削減に取り組みます。また、スタッフ増員のもと工場巡回体制の整備を図り、生産工程における納期管理と品質向上に努めます。経営管理基盤の強化では部門ごとに管理していた生産、販売にともなう営業情報を全社一元管理とすることで情報の“見える化”を図り、収益、在庫、資金管理を強化してまいります。

	連結 2017年1月期 実績	前年比	連結 2018年1月期 通期計画
売上高	651億円	89%	660億円
営業利益	8.6億円	381%	10億円
経常利益	8.8億円	253%	10.5億円
当期純利益	8.2億円	126%	8.5億円

中期経営計画の基本方針

- ① 新規販路の拡大
- ② 生産基盤の再構築
- ③ 経営管理基盤の強化

TOPICS① 営業部門紹介

DIV紹介

(DIVとは当社の事業部の呼称です)

「カットソー部 名古屋DIV」

カットソー部 名古屋DIVは、Tシャツ、フリースといったカットソー素材を扱っており、年間販売枚数は600万枚です。

DIVとして一番実践したいことは、“仕掛けの強化”です。メンバーみんなでキャッチコピーや売り方まで、色々なアイデアを出し合い、「これいいね」と思える企画をどんどん仕掛けて売場でインパクトをだしていきます。

受け身のスタンスでは何もチャンスは掴めません。お客様に「あ、これいい」とワクワク・ドキドキを感じてもらえる商品売り込み、今後もメンバーとともにアグレッシブにチャレンジしていきます。



内藤 正徳DIV長

「L&S DIV」

L&S DIVは、大きいサイズの商品をフルアイテムでトータル販売しており、年間販売枚数は350万枚です。

アパレルは単品専門メーカーが多いなか、シャツブラウス、ニット、カットソーと総合品種を扱うことは、私達の大きな強みであり、専門店との取り組みを増やしています。

そして、働く女性をターゲットに“きれいめ商品”の提案を進め、得意先とのパイプを更にたくしシェア拡大に努めています。



中村 直哉DIV長

TOPICS② 中期経営計画の達成に向けて

生産基盤の再構築を進め
品質向上とコスト削減に取り組みます。

「生産コントロール部」

生産管理では、品質向上のため管理レベルの高い工場を主力工場として選定し、巡回管理する体制をスタートしました。また、貿易管理では、貿易コストの削減を目標に「貨物集約」と「輸送業者の見直し」を進めています。



生産コントロール部
中村 光男

① 主力工場の構成比を上げ、不良品率を下げます。

不良品率の低い主力工場に集約することで検品コストを下げ、余分なコストがかからない体制をつくります。また、中国のローカルスタッフを増員し、定期的に工場を巡回することで、不良品を減らしていきます。

② 中国、アセアン生産でのコスト削減

主力工場と協力して貨物の集約、輸送方法の見直し等、更なる貿易コストの削減に取り組みます。



生産コントロール部
赤木 五郎

こうした取り組みの成果を工場とシェアすることでコスト削減をするとともに、消費者に安心・安全な商品を提供できるように営業部署と連携して業務に臨みます。

TOPICS③ 女性活躍推進プロジェクト

男女問わず全ての社員がいきいきと働ける
職場づくりを目指します。



女性活躍推進プロジェクトは、女性管理職、女性営業職、デザイナー、出産・育児経験者等、様々なメンバーで構成されており、女性社員へのヒアリングや意見交換により社内制度の見直しを行っています。

育児の為に有給休暇を分割して取得したい等の意見をもとに半休取得制度の改定を実施したり、女性が相談しやすい環境づくりを目指し女性専用の電話相談ラインを開設する等、働きやすい職場づくりを進めています。また、デザイナーのキャリアプラン策定や育成を目的に評価制度の見直しを行い、やりがいのある職場づくりを目指します。

今後も女性の活躍推進や仕事と子育ての両立支援に取り組みます。

連結財務諸表

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	前期 (2016年1月31日)	当期 (2017年1月31日)
(資産の部)		
流動資産	24,462	20,882
固定資産	8,977	8,699
資産合計	33,439	29,581
(負債の部)		
流動負債	20,097	15,470
固定負債	3,353	3,219
負債合計	23,450	18,689
(純資産の部)		
株主資本	8,940	9,714
その他の包括利益累計額合計	1,049	1,178
純資産合計	9,989	10,892
負債純資産合計	33,439	29,581

連結損益計算書

単位:百万円

科目	前期 (2015年2月1日～ 2016年1月31日)	当期 (2016年2月1日～ 2017年1月31日)
売上高	72,978	65,130
売上総利益	14,822	13,073
販売費及び一般管理費	14,594	12,205
営業利益	228	868
営業外収益	211	178
営業外費用	88	157
経常利益	351	888
特別利益	907	128
特別損失	516	170
税金等調整前当期純利益	742	846
法人税等合計	93	26
親会社株主に帰属する当期純利益	648	820

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	前期 (2015年2月1日～ 2016年1月31日)	当期 (2016年2月1日～ 2017年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,995	321
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,597	199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△737	△1,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△90
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,841	△653
現金及び現金同等物の期首残高	2,573	5,415
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△342
現金及び現金同等物の期末残高	5,415	4,419

グループ会社別実績

【連結】2017年1月期(累計)グループ会社別実績

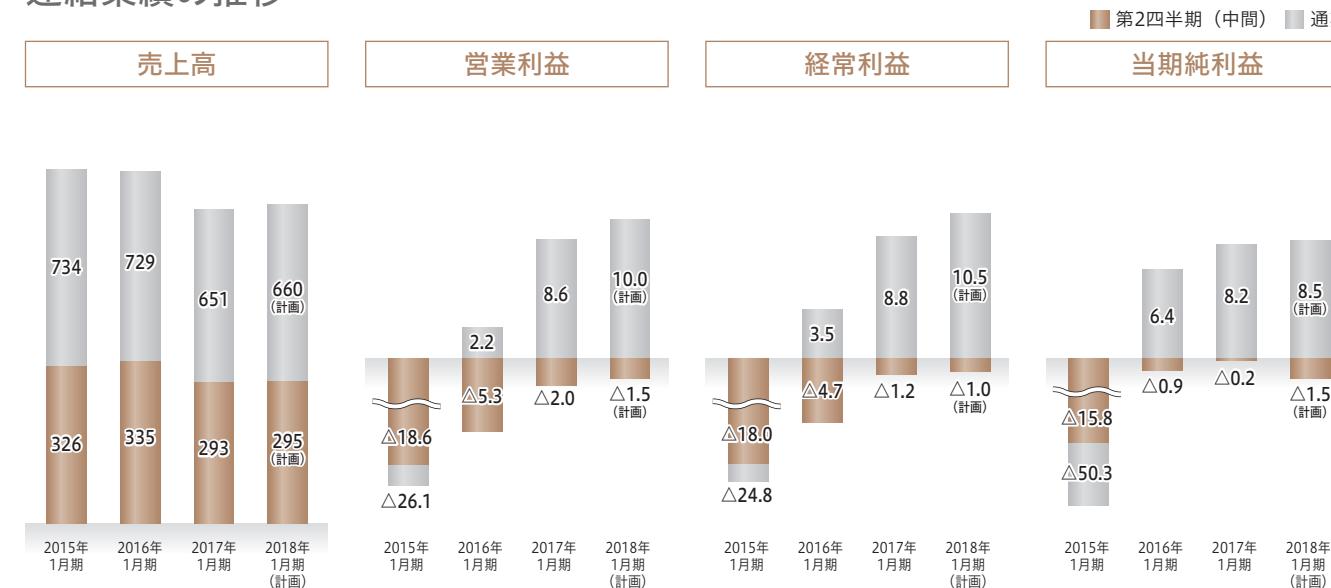
単位:百万円

	売上高			営業利益		
	前年	実績	前年比	前年	実績	前年比
クロスプラス(株)	67,021	62,158	93%	727	813	+86
スタイリンク(株)	3,000	2,685	89%	58	19	△39
上海服飾整理有限公司	671	396	59%	21	32	+10
(株)ヴェント・インターナショナル*	2,453	—	—	△597	—	+597
連結調整	△168	△109	—	17	3	△14
連結	72,978	65,130	89%	228	868	+639

※(株)ヴェント・インターナショナルは、2016年1月31日をもって解散しております。

連結業績の推移

単位:億円



株主優待制度のご紹介

毎年1月31日（決算期）現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様に対して、「クロスプラスグループの選定商品」と「クロスプラスオンラインショップのクーポン券」のいずれかをお選びいただき、ご所有株式数に応じて次のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	選択制	
	当社グループ選定商品の場合	クーポン券の場合
100株以上 500株未満	小売価格 3,000円 相当	3,000円
500株以上 1,000株未満	小売価格 5,000円 相当	5,000円
1,000株以上	小売価格 10,000円 相当	10,000円

特別優待

上記の他に、抽選で株主様に30万円相当の旅行券を贈呈いたします。年1回定時株主総会の終了後に、総会会場にて抽選会を実施し決定いたします。

抽選の対象となる株主様

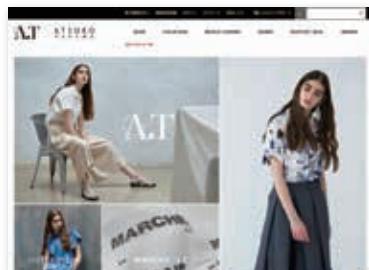
- ①毎年1月31日現在の株主名簿に記載された100株以上を保有する株主様
- ②直近の期末株主名簿から100株以上を3年以上継続して保有（期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続7回以上記載）の株主様

当選数

- ①の株主様の中から10名様
- ②の株主様の中から2名様
(ただし、①と重複当選の場合は無効といたします)

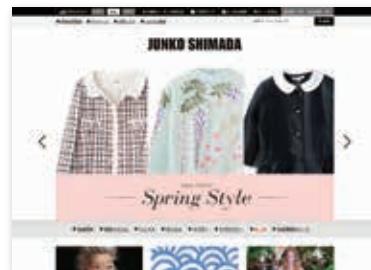
オンラインショップ

ATSURO TAYAMA



<http://www.at-atsurotayama.com/>

JUNKO SHIMADA



<http://www.junkoshimada.jp/>

8ページで紹介のブランドも「クロスプラスオンラインショップ」からご購入いただけます

クロスプラスオンラインショップ



<http://www.crossplus.jp/>




Petit Honfleur
プチオンフルール

ファッションを楽しむ女性に向けた、プライベートからオンスタイルまで対応できるリアルクローズ



鴨をアイコンにした、ブリティッシュトラッドブランド
伝統と格式の中にも女性らしさのあるスタイル



A/C DESIGN BY
ALPHA CUBIC

エーシー デザイン バイ アルファキュービック

働く女性が様々なシーンで輝ける
スタイリングを提案する
キャリアブランド



会社概要・株式の状況

会社概要 (2017年1月31日現在)

事業内容	婦人、女兒向けアウターウェア全般を企画製造し、量販店、専門店等への卸売及び百貨店等での小売
創業	1951年8月
設立	1953年4月
資本金	1,944百万円
代表者	代表取締役社長 山本 大寛
従業員数	699名(連結)、636名(単体)
事業所	本社：名古屋市西区花の木3-9-13 東京支店：東京都中央区日本橋浜町3-3-2 物流センター：中部、CP流通
グループ会社	スタイリンク(株)：東京都 客楽思普勒斯(上海)服飾整理有限公司： 検品センター(上海、青島、烟台、南通)

株式の状況 (2017年1月31日現在)

会社が発行する株式の総数	31,600,000株
期末発行済株式総数	7,718,800株
期末株主総数	11,233名
期末単元株主数	10,916名

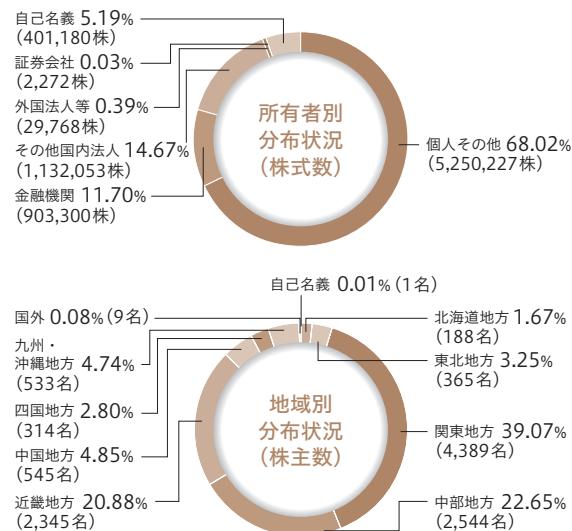
大株主

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
辻村 隆幸	593,650	7.69%
クロスプラス社員持株会	394,860	5.11%
田村駒株式会社	238,400	3.08%
森 文夫	223,330	2.89%
株式会社ヤギ	218,600	2.83%
株式会社三菱東京UFJ銀行	206,000	2.66%
CP共栄会	183,700	2.37%
株式会社みずほ銀行	167,300	2.16%
辻村 幸子	150,850	1.95%
三井住友信託銀行株式会社	150,000	1.94%

※当社は自己株式401,180株(持株比率5.19%)を保有しております。

役員の状況 (2017年4月25日現在)

代表取締役社長	山本 大寛
取締役会長	森 文夫
取締役副会長	辻村 隆幸
常務取締役	北出 哲男 虫鹿 宏
取締役	西垣 正孝
社外取締役	大爺 正博 江口 恒明
常勤監査役	曾我 孝行
監査役	上野 憲一
社外監査役	松島 博 川合 正
常務執行役員	鈴木 英司 西尾 祐己 大口 浩和
執行役員	丸尾 裕之 柳瀬 努 内藤 法子



株主メモ

決算期	毎年1月31日
定時株主総会	毎年4月開催
基準日	・定時株主総会 1月31日 ・期末配当金 1月31日 ・中間配当金 7月31日

単元株式数 100株
上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部
名古屋証券取引所市場第二部

公告の方法 公告は電子公告にて行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
電子公告掲載URL <http://www.crossplus.co.jp/>

株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 配当金計算書について
配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

HPのご紹介

当社グループホームページでは、IR情報や決算情報をはじめ、当社をよりよくご理解いただくための情報がご覧いただけます。

<http://www.crossplus.co.jp/>



CROSS PLUS

クロスプラス株式会社

〒451-8560 名古屋市西区花の木3-9-13

TEL 052-532-2211(代)

<http://www.crossplus.co.jp/>